

I. 平成30年度の取組みの実績

グループ名称	フォレスト庄内			
H30採択グループ番号	07	—	0024	— 0125

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	グループとして30年度に最も力を入れたのは地域における木造住宅の質の向上を図る為、木材の選択から加工、設計、施工まで一連の流れの中で最高の状態を提供することを目指しました。その為の構成員の研修会や消費者の方々の見学会や意見交換会の開催などで良質で安心して住まえる住宅の提供に向けた取組みを行いました。
----	--

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/08/08	名称	グリーン化事業説明会	●
	内容	フォレスト庄内としての30年度の取組内容、方向性、地域型住宅仕様等の説明、29年度事業からの主な変更点についての説明を行った。					
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/04/27	名称	完成見学会	●
	内容	ミュキ・ホーム、幸栄住宅による取組としてお客様や、地域の消費者の方を対象に住宅の完成見学会を行った。多くのお客様にデザイン・仕様に興味を持ってもらい、多くの質問が寄せられた。					
	消費者説明会 2		開催日		名称		
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/08/31	名称	ゼロエネ設計研修	●
	工務店研修会 2		開催日		名称		
	工務店研修会 3		開催日		名称		
	工務店研修会 4		開催日		名称		
	工務店研修会 5		開催日		名称		

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み ①	サポートの有無 1	有		●
	内容	事務局内にサポート体制を構成し、未経験工務店の提案・申請をサポート、通常提案を行っている住宅との違いを説明し、技術的なサポートを行う体制を作った。		
取組み ②	サポートの有無 2	有		●
	内容	3戸未満の工務店を中心に、事務局員がサポートし提案、設計、申請手続きの助けを行い、自信を持って対応できるようにした。		
取組み ③	サポートの有無 3			
	内容			

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	0	発行予定	0
② 住宅履歴情報の保管先	自社	機関名		

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	事業廃業時には、対象住宅の検査を行う。それ以降管理する施工事業者をグループでバックアップする。	
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	グループ構成員全員に対して省エネ講習会への受講を義務付けた。特に、施工グループには、施工現場に係わる外注事業者までの受講を義務付けし、グループ内の住宅省エネ化に向け、取組を強化した。	
省エネ化に対する取組 ②		
内容		
BELS工務店の登録数	1社	

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	フォレスト庄内				
H30採択グループ番号	07	—	0024	—	0125

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/07/26	名称	総会		
	内容	事務局が中心となり、グループで省エネ基準、耐震基準、断熱気密の施工方法などの勉強会を行う。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/08/03	名称	住宅見学会		
	内容	家づくり勉強会の延長線上の取組として各構成員のお客様や地域の消費者の方を対象に完成及び構造見学会を行う。						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/08/30	名称	ゼロエネ設計研修会	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/08/30	名称	住宅見学会	タイプ	見学会
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み ①	サポートの有無 1	有						
	内容	事務局内にサポート体制を構成し、未経験工務店の提案・申請をサポート、通常提案を行っている住宅とフォレスト庄内の住宅との違いを説明し、技術的なサポートを行う体制を今年度も継続して実施する。						
取組み ②	サポートの有無 2	有						
	内容	未経験工務店を中心に、事務局員がサポートにつきフォレスト庄内の住宅の提案から設計・申請手続きの助けを行う工務店を募集しサポートを行う。						
取組み ③	サポートの有無 3	有						
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	自社	機関名	
------------	----	-----	--

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	今年度も継続して、事業者廃業時には住宅の検査を行う。それ以降管理する施工事業者を事務局から消費者に紹介を行う。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	今年度実施される省エネ化に向けた研修会に関して受講を推奨する。						
省エネ化に対する取組み (改修)	有						
内容	既存住宅を対象にした、省エネ技術を会員で受講する。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/08/05				
内容	省エネ改修型に関する内容が公開されたのちグループとして率先して取組む事業者を対象に研修会を実施する。						
研修計画 ②		実施日					
内容							

Ⅱ.平成31年度の取組みの計画

(2)地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	フォレスト庄内				
H30採択グループ番号	07	—	0024	—	0125

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	東日本大震災の経験による高い耐震性能、寒さ暑さを和らげる高い断熱気密性能。対象地域は山形県庄内地域である、日本海に面する沿岸部で海洋性気候の特徴を持ち、多雨多湿で冬季には北西の季節風が強く吹雪くことがあるので一年を通して快適に生活できるようにしたいをモットーにする。
----	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満		50%以上	■	80%以上	
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明					
主要構造材	土台	無	特になし			
	柱	有				
	梁・桁等の横架材等	有				
羽柄材	間柱、根太、垂木等	有				
造作材	枠材、廻縁等	有				
板材	壁板、床板等	有				

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	事務局が木材供給事業者により在庫量、供給可能量をグループメンバーに情報提供する。	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	給湯器・トイレ・キッチン・システムバスなどの住設機器を3パターンほどの推奨建材としてまとめ、フォレスト庄内の標準仕様として提案。建材メーカーへの協力要請でコスト削減に取組む。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	グループ内の地域材(山形県産材)在庫状況(供給可能量)を月次毎に事務局が把握し施工グループ各社に定期連絡として配信。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	断熱材の密度、厚さ、サッシなどについては基本的には仕様を統一し、高性能のものを使用する。サッシ及び断熱材は規格に適合した各会員の工法による違いは認める。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	グループ内規約をもとに共通ルールを作成する。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	構造検査、断熱検査を実施し、確認写真の写しを事務局に保管する。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	地域型住宅に関する共通見積書を作成し、グループの共通、標準化を図る。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	大手ハウスメーカーの地方進出により、デザイン優先の建物が多く、フォレスト庄内として丈夫で長持ちする快適な家を供給していく。	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	基本的に各構成員の事務所では週休2日を採用している。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	現在、キャリアアップに関する学習会を計画し、対応の検討に入った。
③ 社会保険への加入	有	内容	基本的に全事業者が加入している。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	グループ全体で安全講習に関する取組研修を実施予定。

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	フォレスト庄内				
H30採択グループ番号	07	—	0024	—	0125

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	積極的に提案する。
② 和瓦の活用	有	内容	積極的に提案する。
③ 襖・障子の活用	有	内容	積極的に提案する。
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	瓦屋根の提案、外壁を杉材貼を提案する。洋風和風を問わず、床の間、仏間を提案する。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	酒田市は昔、北前船の寄港地として栄え、現在も旧家などが数多く残っている。新築、リフォーム、洋風、和風に係わらず、地元の伝統的なデザインを取り入れるようにする。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	単世帯だけではなく、二世帯など親子が同居できるように勧めていく。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	地域に根差した町並み保全を勧め、街並み形成を推進していく。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み

地域型住宅の関連で、被災地で生産される材料・製品の利用が可能かどうか、検討する。

② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み

今後も災害などが起きた場合復興に資するよう努力する。